

<めざす子供の姿を大切に>

初めての劇遊び

【年少児】

初めての生活発表会。「やらされる」ではなく「楽しい」「やりたい」と思えるような『劇遊び』を心がけました。日々、楽しんでいる遊びを劇に取り入れたり自分のなりたいものに変身したりして、遊びの一つとして劇をすることで、保育者や友達とのやりとりがそのまま台詞や動きになりました。その日の気分で台詞や動きが変わる子供たちに合わせながら劇の流れを柔軟に変えていくことは、とても楽しかったです。

本番は、緊張を乗り越え、とびきりの笑顔で劇遊びを楽しむ子供たちの様子をご覧いただくことができました。



ちんぷいぶいのめえ～

楽しい劇づくり～思いやイメージを大切に～

【年中児】

昔話をもとにした劇づくりを楽しんだ年中児。お話の中に出てくる“ずしんずしん”や“チャリンチャリン”などの言葉の響きを気に入って、登場人物になりきって、何度も口ずさんでいました。「雪が降っているお話だから雪景色をつくろうよ」「穴に落ちるところは、下にマットを敷いてステージから飛び降りよう!」と、みんなで思いやイメージを膨らませながら、のびのびと表現する面白さを味わった子供たちです。



みんなで考えた“あったか～い”のポーズだよ!

自主・自律

共生・協働

探究・創造

大好きな附属幼稚園 90周年おめでとう

【年長児】

子供たちの大好きな幼稚園は、今年で90歳。そこで、「生活発表会では、今年しかできない劇にしよう!」と話し合いました。「幼稚園での楽しいことや大好きなことを春夏秋冬で表現するのはどうか」「幼稚園の90歳もお祝いする劇にしたい」など、27人の子供たちがアイデアを出し合って創作していきました。

春は、園庭の生き物たちが「お祝いケーキを作ろう」と思い付き、得意のダンスでケーキの材料をかき混ぜます。夏は、夕涼み会で楽しんだ忍者たちが登場し、楽しい修行を繰り広げます。秋になると太鼓台や獅子が、活気溢れる秋祭りを力いっぱい表現します。冬には、雪の妖精たちが得意の魔法で独楽に変身し、くるくる上手に回ります。その間に、春夏秋冬のなかまが協力し、少しずつお祝いケーキもできあがっていきます。

道具の移動や場面の移り変わりなどの裏方も、自分たちで行いました。おうちの人たちの笑い声や拍手に後押しされ、自信を高めていった子供たちです。



本物みたいな獅子舞だよ

6年 総合的な学習

『附ッザニア』へ、 青組さんをご招待!

11月13日に幼稚園の青組さんを招いて、『附ッザニア』のプレ演習を行いました。『附ッザニア』本番に向けて準備をしてきましたが、実際に青組さんに体験してもらうと、思っていた反応と違っていたり、上手く話が伝わらなかったりと新たな課題が出てきました。子供たちは、相手に合わせて話し方や体験の方法を変えて、みんなが楽しめるブースにするためにグループの友達と協力しながら試行錯誤していました。



こんな仕事があるよ

幼・小の教員の交流

子供たちの幼・小の円滑な接続のためには教職員の連携が不可欠です。私たちは日常の交流はもちろん、学期末にはそれぞれの労をねぎらって交流会を設けております。食事しながら子供のことについて語る素敵な時間となりました。



学期末の交流会の様子

1・2年生生活科 おもちゃで交流

2年生は、生活科の授業で1年生をおもちゃ祭りに招待しました。風で走る車やゴムで飛ぶロケットなど、ものの性質を利用して動くおもちゃを作成しました。試行錯誤を繰り返して、おもちゃ遊び方を工夫し、1年生に楽しんでもらうことができました。

後日、今度は、1年生が2年生を秋のテーマパークに招待しました。迷路や楽器、どんぐりごまなどのおもちゃを、秋のものを使って工夫して作っていました。2年生が楽しめるようにルールが考えられており、一緒に楽しく遊ぶことができました。生活科の授業を通して、1・2年生の仲をさらに深めることができました。



教えたり、教わったりする楽しい時間

緑化・美化委員会

樹木医さんと「桜復活プロジェクト」

学校の桜の木に元気がないことを心配した緑化美化委員会の子供たちが、木を元気にする方法を学ぼうと、樹木医さんをお迎えし、治療法を教わりました。根がしっかりとほることで桜が元気になることを聞いた子供たちは、木の周りの土を柔らかくしたり、竹の筒を埋めたりして、雨水が深く浸透するようにしました。元気になった木がたくさんの花を咲かせてくれる日を楽しみに、これからも大切にお世話をして、見守っていきます。



みんなで桜の木を守ろう